



研究部情報

令和3年 2月17日

第2号

発行責任者 研究部長 栗田 真

編集者 副委員長 駒井 崇

(道へき・複連 研究推進委員会)

第69回 全道へき地複式教育研究大会檜山大会の概要報告

1 研究主題・大会スローガン

研究主題 主体的・協働的に学び、ふるさとへの誇りと愛着をもった人間性豊かな子どもの育成
～児童生徒一人一人が仲間とつながり、地域とともに「生きる力」を伸ばす

学校・学級経営と学習指導の充実をめざして～

檜山大会スローガン ふるさと檜山の未来を担う子らに

笑顔かがやく豊かな心と時代を生き抜く学びを

2 大会概要

- (1) 開催期日 令和2年9月11日(種川小)、10月21日(栄浜小)、12月9日(河北小)
- (2) 主催 北海道へき地・複式教育研究連盟
- (3) 主管 檜山へき地・複式教育研究連盟
- (4) 後援 全国へき地教育研究連盟 北海道教育委員会 北海道教育大学函館校
檜山管内教育委員会連絡協議会教育長部会 檜山教育研究所
檜山校長会 檜山教頭会 檜山PTA連合会

3 会場校の優れた実践内容

(1) 第1分科会 会場校 今金町立種川小学校

- 研究視点①「見通しをもって主体的に学ぶ取組」において、間接指導時の学び方指導を重点化している。「ガイド学習」が浸透しており、「ヒントカード」・「手がかりになる言葉」を児童の実態に応じて準備し、個人思考における有効な手段となっていた。
- 研究視点②「自分の考えを整理し、伝え合う対話的活動の取組」において、ICT・ホワイトボード・ノートの活用を通して、自他の考えをわかり易くするために視覚化し、対話・交流での学びの深まりにつながっていた。
- 自主的学び合いの中での教師の役割に工夫が見られ、同時間接指導の活用、発表時の支援方法、発問・指示による目指す授業への方向付け等、「何を学ばせるか」を焦点化していた。



(2) 第2分科会 会場校 乙部町立栄浜小学校

- 4段階の学習過程を色分けして提示することで、児童が1時間の学習の見通しを持てるようになり、間接指導時のガイド学習にも効果的である。また、ICTやヒントカードの活用など、主体的な学びを保障するための工夫がなされていた。



○一人学年の「ガイド学習の進め方」や「自力解決の工夫」(ヒントカードや一緒に学ぶお友だちなど)といった手立てを講じることで、一人でも学習を深めることができる授業となっていた。

○振り返りの観点(7つ)を明確にすることで、本時の課題の定着や考えの深まり、次の学習への意欲の高まりなど、効果的な振り返りとなっていた。

(3) 第3分科会 会場校 上ノ国町立河北小学校

○各授業を通して、昨年度のプレ大会以降も研修が止まることなく、着実に深まっている様子が伺われた。全体的には、どの学級も児童の実態をしっかり把握し、単元全体の流れを見通しながら授業づくりをしている印象を受けた。特に、単元全体を見通して評価規準を明確にし、指導事項をはっきりさせる授業計画となっていた。

○1・2年の授業では、「つかむ」という点で興味関心を持たせる工夫がなされていた。また、学習リーダーを中心に授業を進めており、昨年度より進んだ取組となっていた。1年わかば学級では丁寧なアドバイスや見守りが見られ、児童の言葉から内容を広め、学習を深めていた。6年生のweb会議サービスでの学習は先進的な実践だった。指導者同士がお互いサポートしあって授業を進めていた。どの学級も先生と児童との信頼関係が築かれており、伝えたいことを言い合える環境づくりがなされていた。



第70回 全道へき地複式教育研究大会オホーツクプレ大会の概要報告

1 研究主題・大会スローガン

研究主題 主体的・協働的に学び、ふるさとへの誇りと愛着をもった人間性豊かな子どもの育成
～児童生徒一人一人が仲間とつながり、地域とともに「生きる力」を伸ばす

学校・学級経営と学習指導の充実をめざして～

オホーツクプレ大会スローガン オホーツクの大地に育つ子どもへ

未来を切り拓き 夢を実現する学びを

2 大会概要

- | | |
|----------|---|
| (1) 開催期日 | 令和2年9月18日(上仁頃小、豊地小)、11月11日(濁川小)
12月4日(沢木小)、12月16日(若佐小)、12月18日(開盛小) |
| (2) 主催 | 北海道へき地・複式教育研究連盟 |
| (3) 主管 | オホーツクへき地・複式教育研究連盟 |
| (4) 後援 | オホーツク管内教育委員会連絡協議会
網走地方教育研修センター
オホーツク管内教頭会 |
| | オホーツク教育局
オホーツク管内校長会
オホーツク中部・西部 各PTA連合会 |

3 会場校の優れた実践内容

(1) 第1分科会 会場校 佐呂間町立若佐小学校



○2年・3年複式の特別な教科「道徳」の授業を公開し、児童が「学習ガイドの手引き」によって落ち着いて学習を進め、計画的な行動や自分の良さの伸長について、よく考え、議論する姿が見られた。

○単式学級、複式学級が存在する学校体制の中で、「学習ガイド」を系統的、計画的に取り入れ、複式学級での間接指導の充実はもちろん、単式学級でも児童が共同で主体的に学習する形態として取り入れている。



○各教科の特性や見方・考え方などを押さえ、「学習ガイド」を全教科で活用する案を示し、研究を進めている。児童が「楽しい」と感じることができる学習時間をつくることを目指し、児童が意欲的に学べる授業づくりを進め、1時間の授業づくりよりも、単元全体を見通した授業を考えるように研究を進めている。

(2) 第2分科会 会場校 湧別町立開盛小学校

○複式授業を行う際に、共通する言語材料などの観点から総合的に判断し、単元配列の組み替えを行っている。

○ALTをアシスタントとして活用した複式授業のあり方を3年間継続研究し、次年度がまとめの1年となる。

○フォニックス指導を、週に2～3回、朝学習の時間を利用し行っているので、児童が意欲的に自信を持って発音することにつながっている。

○授業の流れが、アウトプットからインプットへの流れとなっており、児童が無理なく英語を使った会話に取り組むことができていた。

○クラスルームイングリッシュを、教師が間違いを恐れずに使うことで、児童も英語を積極的に使ってみたいという意欲を喚起していた。



(3) 第3分科会 会場校 滝上町立濁川小学校



○濁川小学校は、課題設定の工夫や書く活動を中心とした表現の充実、伝え合う活動を積極的に取り入れた授業展開により「学び方を身につけ、意欲的に表現・伝えることを通し、学びを深める子ども」を育てている。

○今回、公開した5・6年生の授業で特筆すべき点は、同時間接指導を指導の中心に据え、5年生(1名)は、自力解決のための十分な時間を取りながら、6年生(3名)は、話し合いにより互いの考えを深めさせながら課題解決を図っていたことである。教師は、同時間接指導中、児童の状況を見ながら5年と6年を自由にわたり、適宜助言や指導を与え、児童の考えを整理・統合していた。また、児童の学習態度も素晴らしく、書く活動の積み重ねも感じられた。



(4) 第4分科会 会場校 雄武町立沢木小学校

- 対話を通して学びを深めるという姿勢が指導案にも授業にもしっかりと貫かれている。指導案では、児童の実態を的確に捉えたうえで、より話し合いを深めるために児童相互の考えを可視化する工夫や具体物を用いて相手にわかりやすく説明する力を育もうとしている。授業においては、児童相互の対話を通して課題やまとめをつくることにも力を入れており、学習リーダーを周囲の児童が温かく支え、互いの考えを出し合いながら学習を進めている。
- 6年間を通して対話で身に付けたい力の系統性や話し合いの仕方を児童の発達段階に応じて明らかにしている。これらの共通の取組を基に目的を明確にした同時間接指導を年間を通して実践し、効果の検証を進めている。



(5) 第5分科会 会場校 北見市立上仁頃小学校



- 3・4年生は外国語活動の複式授業を行った。HRTとALTの役割をうまく分けてのわたりずらしが的確で、間接指導時のガイド学習も日常授業の積み重ねの成果が現れていた。
- 5・6年生は外国語を豊地小との遠隔単式授業で行った。一人学年である5年生が、画面を通して豊地小の児童と多様な表現活動を行っていた。6年生は豊地小のHRTと自校のALTのみでの授業であったが、振り返りも含めたガイド学習が着実に定着していた。個々の評価カードの他に担任が教室に戻ってすぐに評価できるよう、ホワイトボードにも振り返りを記入していた。
- 残された課題はADSLの通信環境の改善であり、先進的な研究を全道に発信するためにも関係機関からの支援が必要である。

(6) 第6分科会 会場校 北見市立豊地小学校

- 「学習ルールの定着」、「ガイド学習の確立」、「ノートの書き方の定着」の取組を重点に、課題からまとめまでの「豊地小スタイル」を確立し実践している。今日のゴールをしっかりと定め、学習し、最後の振り返り場面では、自分の言葉でまとめて発表できていたことから取組の成果が見られた。
- 「学習リーダーの育成」や「話し合いルールの確立」を通じて、児童自らの力で主体的で対話的な学習を進めることができていた。
- 上仁頃小学校との遠隔授業システムを使った授業により、多様な考えを交流できるようになり、学習を深める力の育成につながっている。両校の児童が画面越しに英語で表現し、伝え合うことを楽しんでいる姿が見られ、継続的な取組の成果が現れていた。



第70回全道へき地複式教育研究大会オホーツク大会 令和3年 9月16日(木)～17日(金)
創立70周年記念全国へき地教育研究大会宮崎大会 令和3年10月28日(木)～29日(金)